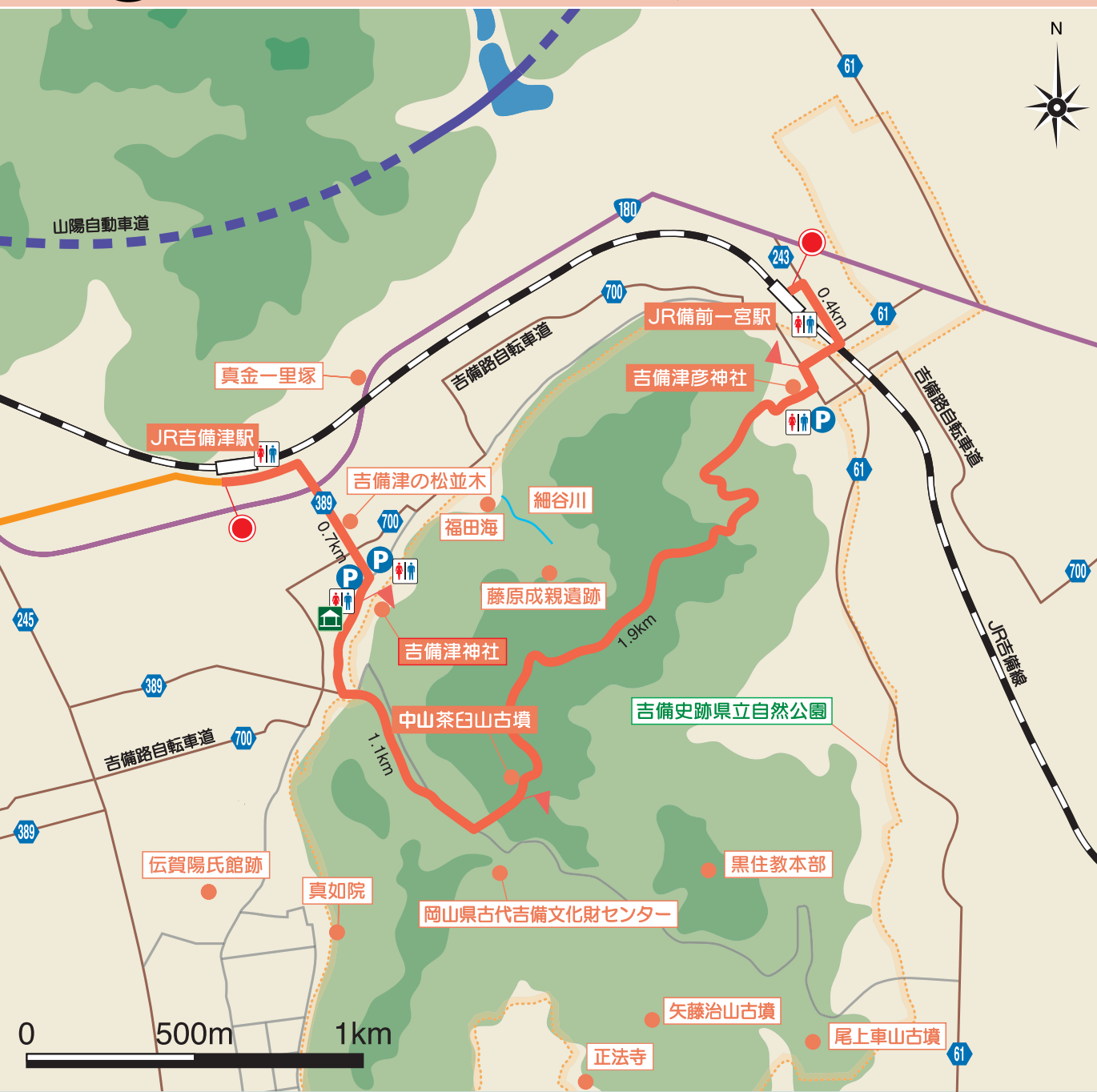


⑤ 吉備の中山を訪ねるみち



主な見どころ



● 吉備津彦神社
 吉備津彦命（きびつひこのみこと）を祭神とし、平安時代にはすでに「備前一宮」として、歴代の国司に崇められた由緒ある社。夏至の日には、太陽が随神門の正面から来光し、本殿正面を通して沈むことから別名「朝日の宮」ともいわれる。



● 中山茶臼山古墳（御陵）
 全長約120m、後円部径約80m、後円部高約12m、前方部長40mの古墳時代前期（西暦3世紀後半～4世紀）の前方後円墳です。現在、大吉備津彦命（おおきびつひこのみこと）の陵墓として宮内庁が管理している。



● 岡山県古代吉備文化財センター
 岡山県内の埋蔵文化財の保護・保存を図るための拠点施設として、発掘調査をはじめ出土品の整理、研究、収蔵を行うとともにその活用を図っている。
 開館時間：午前9時～午後5時（入館無料）
 （年末年始休館・臨時休館あり）



● 吉備津神社
 崇神天皇の御代、四道将軍の一人として吉備の国の温羅を平定し、国民繁栄の礎を築かれた吉備津彦命ほか8柱を御祭神とする社である。現在の本殿、拝殿は室町時代の再建で「吉備津造り」と称され、国宝に指定されている。

コース案内

JR吉備津駅	0.7km	吉備津神社	1.1km	中山茶臼山古墳（御陵）	1.9km	吉備津彦神社	0.4km	JR備前一宮駅
	20分		30分		40分		10分	

■1日コース延長4.1km
 ■時間 1時間 40分